Pioneer

DJ コントローラー

DDJ-SP1

serato || serato DJ

http://pioneerdj.com/support/

上記のPioneer DJサポートサイトでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

http://serato.com/

最新版のSerato DJ ソフトウェアはSerato.com にアクセスしてダウンロードしてください。

取扱説明書(応用編)

もくじ

本書の見かた

- このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
  この冊子と本機に付属している「取扱説明書（基礎編）」を必ずお読みください。両方とも、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
- 本書では、製品本体およびコンピューター画面に表示される画面名、メニュー名、ボタン名および端子名などを、[ ] で囲んで記載しています。（例：[**LOAD**] ボタン、[**AUTO LOOP**] ツマミ）
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、開発途中のものであり、最終仕様と異なる場合がありますがご了承ください。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合がありますがご了承ください。

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しい Serato DJ ソフトウェアの操作については、Serato DJ のソフトウェアマニュアル、Serato DJ 認証機器の操作についてはその機器の取扱説明書をご覧ください。

01 はじめに
本機の特長 3
動作環境 3
Serato Video ソフトウェアについて 3

02 接続および各部の名称
接続する 4
各部の名前とはたらき 4

03 操作する（基本編）
システムを起動する 8
トラックをインポートする 8
トラックをロードする 8
トラックを再生する 8
パフォーマンスパッドを使う 8
エフェクトを使う 8
エフェクトのテンポモードを切り換える 9
システムを終了する 9

04 操作する（応用編）
オートループを使う 10
パフォーマンスパッドを使う 10
サンプラーベロシティを使う 13
エフェクトを使う 13
Serato Video を使う 15
スリップを使う 18
本機の設定を変更する 20

05 その他
故障かな？と思ったら 23
他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する 24
保証とアフターサービス 24
商標および登録商標について 24
著作権についてのご注意 24

はじめに

本機の特長

本機は、多くのプロ DJ やクラブから高く評価されている操作性・信頼性を受け継ぎ、Serato 社製 DJ ソフトウェア「Serato DJ」に対応した Serato DJ 専用 DJ コントローラーです。パイオニア製 DJ プレイヤーまたはターンテーブルと Serato DJ 対応ミキサー、あるいは DJ コントローラーと「Serato DJ」を組み合わせたデジタル DJ システムに、本機を追加することで、「Serato DJ」が持つパフォーマンス機能を最大限に引き出し、操作性の高いインターフェースで直感的かつ多彩な演奏ができます。
さらに、本機は「Serato DJ」にビデオミックスコントロールを追加するプラグインソフトウェア「Serato Video」にも対応しており、DJ パフォーマンスをしながら、シンプルな操作で映像パフォーマンスも実現できます。

「PERFORMANCE PADS」

「Serato DJ」に搭載されている「HOT CUE」、「ROLL」、「SLICER」、「SAMPLER」の 4 つの機能をたたく、連打する等のダイナミックなアクションで操作できる、大型の「パフォーマンスパッド」を搭載しています。パッドの素材にラバーを採用していますので、長時間のプレイでも疲れず操作することができます。「SAMPLER」モード使用時は、4 種類のベロシティカーブから好みのカーブを選択することができ、強弱のついた抑揚のある演奏ができます。

Unique multi-facet design & Professional Build Quality

持ち運びや DJ ブースでの設置も考慮したうえで、「Serato DJ」のパフォーマンスを最大限に活かす、2Deck/2FX スタイルの薄型・横長レイアウトを採用しました。また、トップパネルにアルミ素材を採用することで堅牢かつ高級感のあるデザインに仕上げました。さらに、各パッドやノブは、ラバー素材を採用することにより、高級感だけでなく、高い操作性を実現しました。

「Serato DJ」 Supported

DJ プレイに必要な数々の機能を搭載した DJ ソフトウェア「Serato DJ」に対応しています。本機のすべてのボタンやツマミは、あらかじめソフトウェアと連動するよう設定されていますので、本機をコンピューターにつなぐだけですぐに DJ プレイを楽しめます。また Serato 社協力のもと、「SLIP」機能を共同開発しました。

「SLIP MODE」

LOOP/HOT CUE 等のプレイ中にバックグラウンドで音楽が進み続ける「SLIP MODE」機能を搭載。これにより、LOOP/HOT CUE 等のプレイ後でも原曲の展開を変えることなく DJ パフォーマンスすることができます。

「Serato Video」 Supported

「Serato DJ」にビデオミックスコントロールを追加するプラグインソフトウェア「Serato Video」に対応しています。本機は「Serato Video」のビデオエフェクトやトランジションエフェクトなどをコントロールする「Serato Video コントロールモード」を搭載しており、本機のボタンやツマミで「Serato Video」を直感的に操作することができます。

動作環境

本機を動作させるためには、以下の機器やソフトウェアが必要です。

DJ コントローラーや DJ ミキサー

Serato DJ の認証ができる DJM-900SRT 等のミキサーまたは DDJ-S1 等のコントローラーが別途必要になります。

Serato DJ ソフトウェア

Serato DJ は Serato 社製の DJ ソフトウェアです。このソフトウェアをインストールしたコンピューターと本機を接続して DJ プレイを楽しむことができます。

- Serato DJ は本機に同梱されていません。下記の Serato 社のサイトから最新の Serato DJ をダウンロードして使用してください。
  http://serato.com/
- Serato DJ ソフトウェアに関しては、Serato 社にお問い合わせください。

Serato DJ ソフトウェアが動作するコンピューター

コンピューターと本機を接続するために USB2.0 ポートが必要です。コンピューターの USB2.0 ポートは本機用と Serato DJ の認証できる DJ ミキサーまたは DJ コントローラー用に計 2 つ必要になります。

インターネット接続環境

Serato DJ、Serato Video のダウンロード等のためインターネット接続環境が必要になります。
インターネット接続を伴う場合の注意

- インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要になります。

Serato Video ソフトウェアについて

Serato Video は、音と映像による DJ プレイを可能にする Serato DJ のプラグインソフトです。

最低動作環境

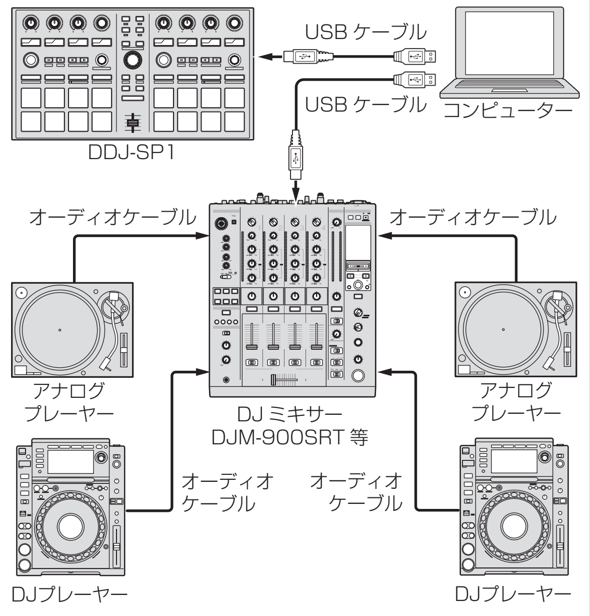
	Windows	Mac
OS	Microsoft Windows 7	Mac OS X:10.8、10.7、10.6
CPU	Intel® プロセッサ、Core™ Duo 2.0 GHz 以上	
必要メモリー	2 GB 以上の RAM	
HDD 空き容量	5 GB 以上	
グラフィックカード	NVIDIA GeForce® 8400 以上、または ATI Radeon™ X1650 以上	

- Serato Video の最新の動作環境を取得するには、下記の Pioneer DJ サポートサイトの「**DDJ-SP1**」の「**ソフトウェア対応情報**」を参照してください。
  http://pioneerdj.com/support/
- 記載の動作環境を満たしているすべてのコンピューターにおける動作を保証するものではありません。
- コンピューターの省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型コンピューターをお使いのときは、AC 電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングで Serato Video をお使いください。
- OS は最新のバージョン、サービスパックをお使いください。

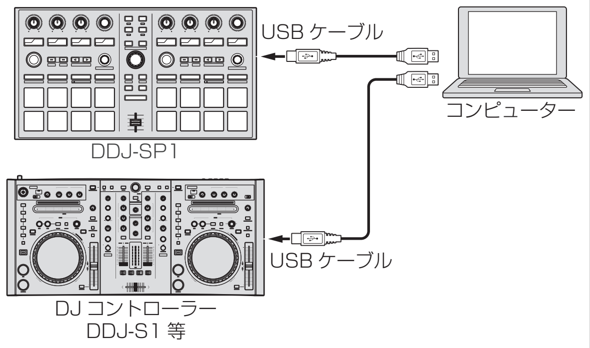
接続および各部の名称

接続する

DJ ミキサーと組み合わせる場合

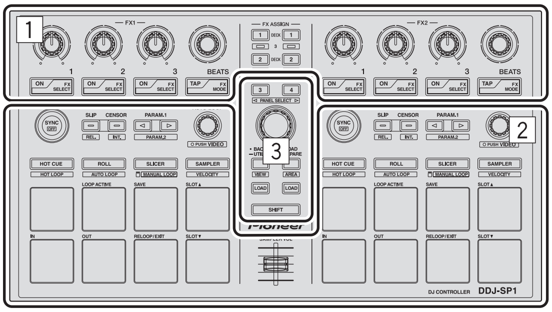


DJ コントローラーと組み合わせる場合



各部の名前とはたらき

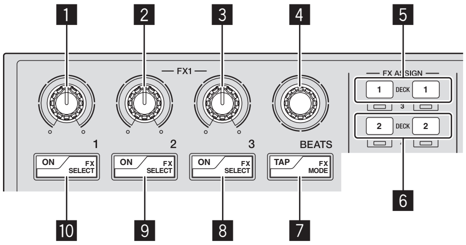
Serato DJ を使用するときのボタンやツマミの代表的なはたらきを説明します。



1 エフェクト部
2 デッキ部
3 ブラウザ部

エフェクト部

❖ Serato Video コントロールモードがオフのとき



Serato DJ のエフェクトには「シングル FX モード」と「マルチ FX モード」の 2 つの DJ-FX モードがあり、モードによって調整できる項目が異なります。

- マルチ FX モード：エフェクトユニットあたり、最大で 3 つのエフェクトが選択可能で、各エフェクトにはひとつの調整可能なパラメーターがあります。
- シングル FX モード：エフェクトユニットあたり、ひとつのエフェクトが選択可能で、調整可能な複数のパラメーターがあります。

1 エフェクトパラメーター 1 ツマミ

マルチ FX モード：
1 つめのエフェクトのパラメーターを調整します。

シングル FX モード：
エフェクトパラメーター 1 を調整します。

2 エフェクトパラメーター 2 ツマミ

マルチ FX モード：
2 つめのエフェクトのパラメーターを調整します。

シングル FX モード：
エフェクトパラメーター 2 を調整します。

3 エフェクトパラメーター 3 ツマミ

マルチ FX モード：
3 つめのエフェクトのパラメーターを調整します。

シングル FX モード：
エフェクトパラメーター 3 を調整します。

4 FX BEATS ツマミ
エフェクト時間を調整します。

5 FX ASSIGN1 ボタン
押す：
左側のボタンは、デッキ 1 に対して FX1 をオン / オフします。
右側のボタンは、デッキ 1 に対して FX2 をオン / オフします。

[**SHIFT**] + 押す：
左側のボタンは、デッキ 3 に対して FX1 をオン / オフします。
右側のボタンは、デッキ 3 に対して FX2 をオン / オフします。

6 FX ASSIGN2 ボタン
押す：
左側のボタンは、デッキ 2 に対して FX1 をオン / オフします。
右側のボタンは、デッキ 2 に対して FX2 をオン / オフします。

[**SHIFT**] + 押す：
左側のボタンは、デッキ 4 に対して FX1 をオン / オフします。
右側のボタンは、デッキ 4 に対して FX2 をオン / オフします。

7 TAP ボタン
押す：
オートテンポモード中に、[**TAP**] ボタンを 3 回以上押すと、マニュアルテンポモードへ切り換わります。
マニュアルテンポモード中に、[**TAP**] ボタンを 1 秒以上押すと、オートテンポモードへ切り換わります。
➲ 「エフェクトのテンポモードを切り換える」(p.9)

[**SHIFT**] + 押す：
DJ-FX モードを切り換えます。ボタンを押すたびにマルチ FX モードとシングル FX モードが切り換わります。

8 エフェクトパラメーター 3 ボタン
マルチ FX モード：
押す：
3 つめのエフェクトをオン / オフします。
[**SHIFT**] + 押す：
3 つめのエフェクトの種類を切り換えます。

シングル FX モード：
押す：
エフェクトパラメーター 5 を切り換え、またはオン / オフします。
[**SHIFT**] + 押す：
エフェクトの種類を切り換えます。

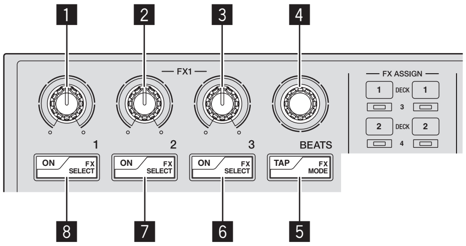
9 エフェクトパラメーター 2 ボタン
マルチ FX モード：
押す：
2 つめのエフェクトをオン / オフします。
[**SHIFT**] + 押す：
2 つめのエフェクトの種類を切り換えます。

シングル FX モード：
押す：
エフェクトパラメーター 4 を切り換え、またはオン / オフします。
[**SHIFT**] + 押す：
エフェクトの種類を切り換えます。

10 エフェクトパラメーター 1 ボタン
マルチ FX モード：
押す：
1 つめのエフェクトをオン / オフします。
[**SHIFT**] + 押す：
1 つめのエフェクトの種類を切り換えます。

シングル FX モード：
押す：
エフェクトをオン / オフします。
[**SHIFT**] + 押す：
エフェクトの種類を切り換えます。

❖ Serato Video コントロールモードがオンのとき



Serato Video を使うときに、Serato Video コントロールモードをオンにすると、エフェクト部の一部のツマミやボタンは Serato Video の機能を操作することができます。

1 エフェクトパラメーター 1 ツマミ
ビデオエフェクトスロット 1 のビデオエフェクトを調整します。
➲ 「Serato Video コントロールモードに切り換える」(p.17)

2 エフェクトパラメーター 2 ツマミ
ビデオエフェクトスロット 2 のビデオエフェクトを調整します。

3 エフェクトパラメーター 3 ツマミ
左側のツマミ：イメージエフェクトの透明度を調整します。
右側のツマミ：テキストエフェクトの透明度を調整します。

4 FX BEATS ツマミ
フェーダートランジションの種類を切り換えます。

5 TAP ボタン
押す：
[**TAP**] ボタンを押すたびに、フェーダートランジションの種類が順番に切り換わります。

[**SHIFT**] + 押す：
フェーダートランジションのクロスフェーダーリンクをオン / オフします。

6 エフェクトパラメーター 3 ボタン
押す：
左側のボタン：イメージエフェクトをオン / オフします。
右側のボタン：テキストエフェクトをオン / オフします。

[**SHIFT**] + 押す：
左側のボタン：イメージエフェクトのアニメーションを切り換えます。
右側のボタン：テキストエフェクトのアニメーションを切り換えます。

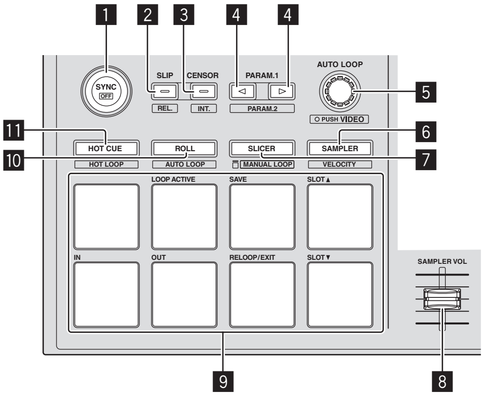
7 エフェクトパラメーター 2 ボタン
押す：
ビデオエフェクトスロット 2 のビデオエフェクトをオン / オフします。

[**SHIFT**] + 押す：
ビデオエフェクトスロット 2 のエフェクトの種類を切り換えます。

8 エフェクトパラメーター 1 ボタン
押す：
ビデオエフェクトスロット 1 のビデオエフェクトをオン / オフします。

[**SHIFT**] + 押す：
ビデオエフェクトスロット 1 のエフェクトの種類を切り換えます。

デッキ部



1 SYNC ボタン
押す：
複数のデッキのトラックとテンポ (ピッチ) およびビートグリッドを自動で合わせることができます。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
SYNC を解除します。

2 SLIP ボタン
押す：
スリップモードをオン / オフします。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
Serato DJ をレラティブモードに設定します。

3 CENSOR ボタン
押す：
[**CENSOR**] ボタンを押しているあいだ逆方向に再生し、ボタンから手を放すと通常の再生に戻ります。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
Serato DJ をインターナルモードに設定します。

4 PARAM.1/PARAM.2 ボタン
押す：
「ループロール」、「オートループ」、「スライサー」、「マニュアルループ」、「サンプラー」のパラメーターを設定します。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
「オートループ」、「スライサー」、「マニュアルループ」の別のパラメーターを設定します。
➲ 「パフォーマンスパッドを使う」(p.10)

5 AUTO LOOP ツマミ
回す：
オートループのループの拍を選択します。

押す：
オートループをオン / オフします。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
Serato Video を使うためのモードへ切り換えます。

6 SAMPLER モードボタン
押す：
SAMPLER モードに設定します。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
SAMPLER VELOCITY モードに設定します。
➲ 「サンプラーベロシティを使う」(p.13)

7 SLICER モードボタン
押す：
SLICER モードに設定します。
- ボタンを押すたびに、SLICER モード 1/SLICER モード 2 を切り換えます。
- SLICER モードを解除するには、[**ROLL**] モードボタン、[**SAMPLER**] モードボタン、[**HOT CUE**] モードボタンのいずれかのボタンを押します。

➲ 「スライサーを使う」(p.10)

[**SHIFT**] ＋ 押す：
MANUAL LOOP モードに設定します。
➲ 「マニュアルループを使う」(p.12)

8 SAMPLER VOLUME フェーダー
サンプラー全体の音声レベルを調整します。

9 パフォーマンスパッド
「ホットキュー」、「ホットループ」、「ループロール」、「オートループ」、「スライサー」、「マニュアルループ」、「サンプラー」の演奏に使います。

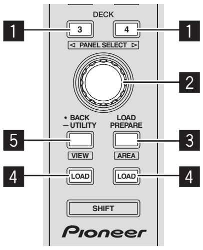
10 ROLL モードボタン
押す：
ROLL モードに設定します。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
AUTO LOOP モードに設定します。
➲ 「オートループを使う」(p.12)

11 HOT CUE モードボタン
押す：
HOT CUE モードに設定します。
➲ 「ホットキューを使う」(p.10)

[**SHIFT**] ＋ 押す：
HOT LOOP モードに設定します。
➲ 「ホットループを使う」(p.11)

ブラウザ部



1 DECK ボタン
押す：
使用するデッキを選択します。
デッキ３またはデッキ４が選ばれているときは、[**DECK**] ボタンが点灯します。デッキ 1 またはデッキ 2 が選ばれているときは、[**DECK**] ボタンは点灯しません。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
[**REC**] パネル、[**DJ-FX**] パネル、[**SP-6**] パネルを選択して開きます。

2 ロータリーセレクター
回す：
ライブラリや [**CRATES**] パネルのカーソルが上下に移動します。

押す：
ロータリーセレクターを押すたびに [**CRATES**] パネルとライブラリの間でカーソルが移動します。
[**Files**] パネル内のカーソルが下位階層へ移動します。
[**Browse**] パネル内のカーソルが次のカテゴリへ移動します。

3 LOAD PREPARE (AREA) ボタン
押す：
[**Prepare**] パネルにトラックをロードします。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
[**Files**] パネル、[**Browse**] パネル、[**Prepare**] パネル、[**History**] パネルを選択して表示します。

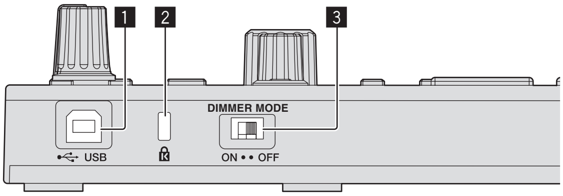
4 LOAD ボタン
押す：
選んでいるトラックを現在選ばれているデッキにロードします。
- [**LOAD**] ボタンを 2 回押すと、反対側の選択されているデッキにロードされているトラックを、[**LOAD**] ボタンが押されたデッキにロードします。トラックが再生中のときは同じ位置から再生されます。（インスタントダブル）

5 BACK ボタン
押す：
ボタンを押すたびに [**CRATES**] パネルとライブラリの間でカーソルが移動します。

1 秒以上押す：
ユーティリティーモードへ切り換わります。
➲ 「本機の設定を変更する」(p.20)

[**SHIFT**] ＋ 押す：
Serato DJ のレイアウトを切り換えます。

本体側面部



1 USB 端子
コンピューターと接続します。
- USB ハブは使えません。

2 ケンジントンロック装着用穴

3 DIMMER スイッチ
ON：LED の輝度を暗い設定にします。
OFF：LED の輝度を明るい設定にします。
- LED の輝度を暗く設定することで、消費電力を減らすことができます。

[**DIMMER**] スイッチを [**ON**] 状態から [**OFF**] にするには、一度本機に接続されている USB ケーブルを抜いてから行ってください。USB ケーブルが接続されている状態で [**OFF**] の位置にしても、インジケーターは明るくなりません。

操作する (基本編)

システムを起動する

あらかじめコンピューターと Serato DJ の認証ができる DJ コントローラーや DJ ミキサー等を接続する必要があります。

- Serato DJ ソフトウェア、および Serato DJ の認証ができる DJ コントローラーや DJ ミキサーの操作方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

1 Serato DJ の認証ができる DJ ミキサーまたは DJ コントローラーを USB ケーブルでコンピューターに接続する

2 コンピューターの電源をオンにする

3 Serato DJ の認証ができる DJ ミキサーまたは DJ コントローラーの電源をオンにする

4 Serato DJ を起動する

- Windows 7 をお使いの場合
  Windows の [**スタート**] メニューから、[**すべてのプログラム**] > [**Serato**] > [**Serato DJ**] > [**Serato DJ**] のアイコンをクリックする
- Mac OS X のとき
  Finder で [**Applications**] フォルダを開いてから、[**Serato DJ**] のアイコンをクリックする

5 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する

本機と Serato DJ が正しく接続されると、本機のパッドモードボタン (初期状態は [**HOT CUE**] モードボタン) が点灯します。

- 本機は OS の標準ドライバーで動作します。本機のためのドライバーソフトウェアを別途インストールする必要はありません。

トラックをインポートする

Serato DJ ソフトウェアを操作してライブラリにトラックを追加します。

- Serato DJ ソフトウェア、および Serato DJ の認証ができる DJ コントローラーや DJ ミキサーの操作方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

トラックをロードする

1 本機の [BACK] ボタンまたはロータリーセレクターを押して、コンピューター画面の crates パネルにカーソルを移動させる

2 ロータリーセレクターを回して、crate などを選ぶ

3 ロータリーセレクターを押して、コンピューター画面のライブラリにカーソルを移動させる

4 ロータリーセレクターを回して、トラックを選ぶ

5 [LOAD] ボタンを押して、選んでいるトラックをデッキにロードする

デッキ 3 またはデッキ 4 へトラックをロードさせるときは、先に [**DECK**] ボタンを押して、[**DECK**] ボタンが点灯するようにしてください。 トラックのロード先は、デッキ選択に連動します。

トラックを再生する

DJ プレーヤーやアナログプレーヤー、または DJ コントローラーなどを操作してトラックを再生します。

- Serato DJ ソフトウェア、および Serato DJ の認証ができる DJ コントローラーや DJ ミキサーの操作方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

パフォーマンスパッドを使う

「ホットキュー」、「ループロール」、「スライサー」、「ホットループ」、「オートループ」、「マニュアルループ」、および「サンプラー」をコントロールします。
それぞれの機能はパッドモードボタン（[**HOT CUE**] モードボタン、[**ROLL**] モードボタン、[**SLICER**] モードボタン、[**SAMPLER**] モードボタン) で切り換えます。
ここでは例として、ホットキューを使用する場合を説明します。

- 他のパッドモードの使い方については、10 ページの「パフォーマンスパッドを使う」をご覧ください。

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

[**HOT CUE**] モードボタンが点灯し、HOT CUE モードに切り換わります。

2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

ホットキューポイントが設定されると、そのパフォーマンスパッドが点灯します。

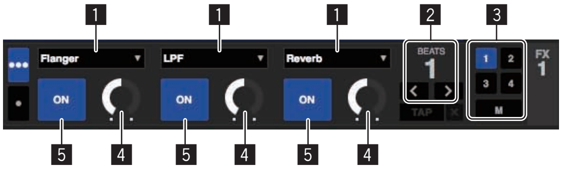
3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

エフェクトを使う

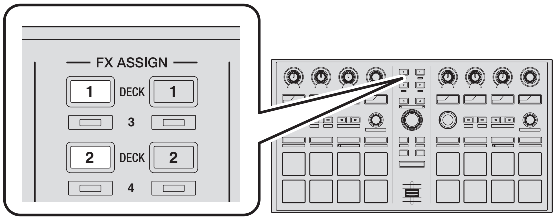
Serato DJ には FX1 と FX2 の 2 つのエフェクトユニットがあります。これらのエフェクトは音声全体に適用したり、選んだデッキに適用することができます。ここでは、Serato DJ の DJ-FX モードがマルチ FX モードの場合に、本機を操作してエフェクトユニット 1(FX1) を割り当てる方法の説明をします。
詳しくは、10 ページの「操作する (応用編)」をご覧ください。

Serato DJ のエフェクトユニットの画面表示



1. 現在選ばれているエフェクトの種類が表示されます。
2. エフェクト時間が表示されます。
3. そのエフェクトユニットが割り当てられているデッキ番号がハイライトで表示されます。
4. 選ばれているエフェクトパラメーターの状態が表示されます。
5. エフェクトのオン / オフが表示されます。

1 左側の [FX ASSIGN] ボタンを押して、エフェクトを割り当てるデッキを選ぶ

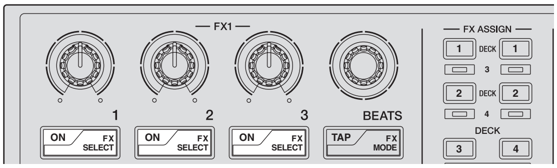


デッキ 1 にエフェクトを割り当てたいときは [**FX ASSIGN**]1 ボタン、デッキ 2 にエフェクトを割り当てたいときは [**FX ASSIGN**]2 ボタンを押します。

- デッキ 3 にエフェクトを割り当てたい場合は、[**SHIFT**] ボタンを押しながら [**FX ASSIGN**]1 ボタンを押し、デッキ 4 にエフェクトを割り当てたい場合は、[**SHIFT**] ボタンを押しながら [**FX ASSIGN**]2 ボタンを押します。
- 音声全体 (マスター) にエフェクトをかける場合はコンピューター上で [**M**] をクリックします。

2 [SHIFT] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーター 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトの種類を選ぶ

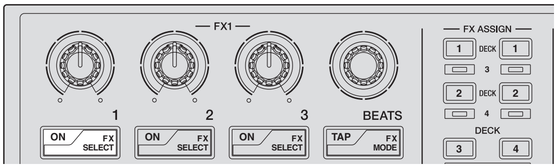
2 番目のエフェクトの種類を選ぶには、[**SHIFT**] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーター 2 ボタンを押します。
3 番目のエフェクトの種類を選ぶには、[**SHIFT**] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーター 3 ボタンを押します。



現在選ばれているエフェクトの種類は、Serato DJ の画面上に表示されます。

3 エフェクトパラメーター 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトをオンにする

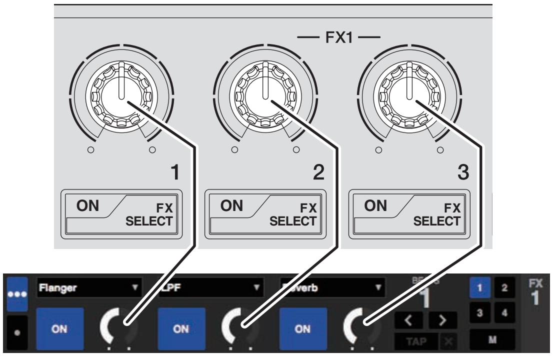
エフェクトパラメーター 2 ボタンを押すと、2 番目のエフェクトがオンになります。
エフェクトパラメーター 3 ボタンを押すと、3 番目のエフェクトがオンになります。



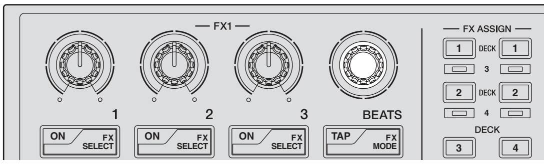
Serato DJ の画面上で、対応するエフェクトの [**ON**] ボタンがハイライトで表示されます。

4 エフェクトパラメーター 1 ツマミを操作して、1 番目のエフェクトのパラメーターを調整する

2 番目のエフェクトのパラメーターを調整するには、エフェクトパラメーター 2 ツマミを操作します。
3 番目のエフェクトのパラメーターを調整するには、エフェクトパラメーター 3 ツマミを操作します。



5 [FX BEATS] ツマミを回して、エフェクト時間を調整する



エフェクトのテンポモードを切り換える

Serato DJ のエフェクトには、エフェクトのテンポを設定する方法として、「オートテンポモード」と「マニュアルテンポモード」の 2 つモードがあります。

- 初期状態はオートテンポモードに設定されています。

オートテンポモード

トラックの BPM 値がエフェクトのテンポの基準となります。

マニュアルテンポモード

エフェクトの基準となる BPM 値を、[**TAP**] ボタンを指でたたいた間隔から算出します。

マニュアルテンポモードに切り換える

オートテンポモード中に、[TAP] ボタンを 3 回以上押す

- マニュアルテンポモード中に、[**TAP**] ボタンを 1 秒以上押すと、オートテンポモードへ切り換わります。

システムを終了する

1 Serato DJ を終了する

ソフトウェアを閉じると、終了の確認のための画面がコンピューター上に表示されます。[**Yes**] をクリックして終了します。

2 USB ケーブルをコンピューターから抜く

操作する（応用編）

これ以降の操作説明の記載では、Serato DJ のソフトウェアマニュアルで説明されていない、本機と Serato DJ を組み合わせたときの特有な機能について説明しています。

オートループを使う

オートループの操作は、パフォーマンスパッドを使う方法と [**AUTO LOOP**] ツマミを使う方法の 2 通りがあります。

- パフォーマンスパッドを使ってオートループを操作することもできます。
  詳しくは、12 ページの「オートループを使う」をご覧ください。

1 再生中に [AUTO LOOP] ツマミを回す

ループの長さを拍数で指定します。

2 [AUTO LOOP] ツマミを押す

再生しているトラックの BPM に合わせて、設定した拍数のループが自動的に作成されループ再生を始めます。

- オートループ中でも [**AUTO LOOP**] ツマミを回すと、ループの長さを調整できます。

オートループを解除する

オートループ中に [AUTO LOOP] ツマミを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らずに、そのまま再生が続きます。

パフォーマンスパッドを使う

ホットキューを使う

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。

- ホットキューポイントは 1 トラックにつき 8 か所まで設定および保存できます。

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

[**HOT CUE**] モードボタンが点灯し、HOT CUE モードに切り換わります。

2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

各ホットキューポイントは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。

ホット キュー 1	ホット キュー 2	ホット キュー 3	ホット キュー 4
ホット キュー 5	ホット キュー 6	ホット キュー 7	ホット キュー 8

3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- [**SHIFT**] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

ループロールを使う

パフォーマンスパッドを押すとパッドに割り当てられた拍数のループが設定され、パッドを押し続けているあいだループ再生を継続します。ループロール再生中、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。ループロール再生を解除すると、解除するまでに経過した位置から再生を再開します。

1 [ROLL] モードボタンを押す

[**ROLL**] モードボタンが点灯し、ROLL モードに切り換わります。

2 [PARAM.1/PARAM.2◀] ボタンまたは [PARAM.1/PARAM.2▶] ボタンを押す

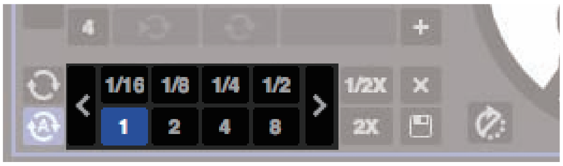
ボタンを押すたびに、パフォーマンスパッドに割り当てられるループロールの拍が切り換わります。
以下の 4 通りの設定ができます。

① 1/32 から 4 拍
② 1/16 から 8 拍
③ 1/8 から 16 拍
④ 1/4 から 32 拍

たとえば、「1/16 から 8 拍」の設定では、パッドの設定値は以下のようになります。

1/16 拍	1/8 拍	1/4 拍	1/2 拍
1 拍	2 拍	4 拍	8 拍

コンピューター画面にはループロールの設定されている拍の範囲が表示されます。



3 パフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられた拍数で、ループロール再生します。
ループロール再生中もバックグラウンドで再生を続けます。

- ループロール再生中に [**AUTO LOOP**] ツマミを回すと再生中のループロール音の拍数を変えることができます。

4 パフォーマンスパッドから指を放す

ループロール再生が解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

スライサーを使う

指定した範囲を 8 分割し、分割したそれぞれの区間をパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てます。パフォーマンスパッドの 1 つを押している間、パッドに割り当てられた区間の音声をループ再生します。
パッドに割り当てられた区間の音声のループ再生中は、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま再生を続けます。パッドを放してループ再生が終わると、それまでに経過した位置から再生を再開します。

- スライサー機能はビートグリッドが設定されていないトラックではお使いいただけません。ビートグリッドの設定方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

1 [SLICER] モードボタンを押す

[**SLICER**] モードボタンが点灯し、SLICER モード 1 に切り換わります。

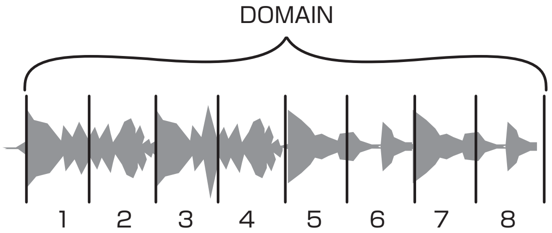
2 [SLICER] モードボタンを押して、SLICER モードを選ぶ

ボタンを押すたびに SLICER モード 1 と SLICER モード 2 が切り換わります。

➲「SLICER モード 1 と SLICER モード 2 について」(p.11)

3 [**SHIFT**] ボタンを押しながら、[**PARAM.1/PARAM.2◀**] ボタンまたは [**PARAM.1/PARAM.2▶**] ボタンを押す

スライサーの「DOMAIN」を設定します。[**SHIFT**] ボタンを押しながら、ボタンを押すたびに、DOMAIN の設定値が切り換わります。
「DOMAIN」は 2 拍、4 拍、8 拍、16 拍、32 拍、64 拍の 6 通りの設定ができます。
「DOMAIN」で設定した範囲を 8 分割した、それぞれのスライスされた区間は、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



スライスされた区間 1 から 8

4 [**PARAM.1/PARAM.2◀**] ボタンまたは [**PARAM.1/PARAM.2▶**] ボタンを押す

スライサーの「QUANTIZATION」を設定します。ボタンを押すたびに、QUANTIZATION の設定値が切り換わります。
「QUANTIZATION」は 1/8、1/4、1/2、1 の 4 通りの設定ができます。
「QUANTIZATION」の設定値によって、パッドを押している間のループ再生の長さを変更できます。たとえば、「QUANTIZATION」の設定が「1」のときはパッドに割り当てられた区間全体をループ再生し、「QUANTIZATION」の設定が「1/2」のときはパッドに割り当てられた区間の先頭から 1/2 の長さだけをループ再生します。

5 パフォーマンスパッドを押し続ける

パッドを押し続けている間、ループ再生を続けます。

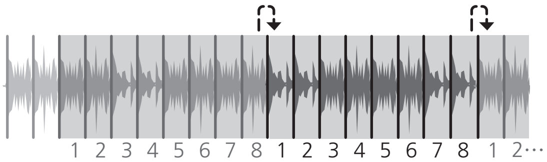
- ループ再生の長さは「QUANTIZATION」の設定により異なります。

パッドから手を放すと、バックグラウンドで再生している位置に戻ります。

❖ SLICER モード 1 と SLICER モード 2 について

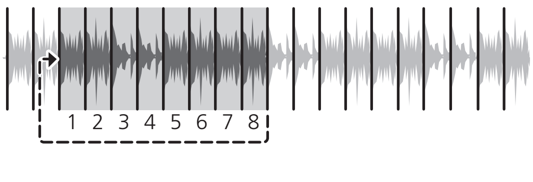
SLICER モード 1

再生位置が 8 分割された範囲の最後まで進むと、画面上の範囲が次の 8 分割表示に切り換わり、分割されたそれぞれの区間は新たに各パッドへ割り当てられます。



SLICER モード 2

再生位置が 8 分割された範囲の最後まで進むと、再生位置が 8 分割された範囲の最初に戻ります。



サンプラーを使う

サンプラー (SP-6) のサンプラースロットにロードされたトラックを、パフォーマンスパッドで再生できます。

1 [**SHIFT**] ボタンを押しながら、左または右の [**DECK**] ボタンを押して、コンピューター画面上に [**SP-6**] パネルを開く

2 [**SAMPLER**] モードボタンを押す

[**SAMPLER**] モードボタンが点灯し、SAMPLER モードに切り換わります。

3 [**PARAM.1/PARAM.2◀**] ボタンまたは [**PARAM.1/PARAM.2▶**] ボタンを押す

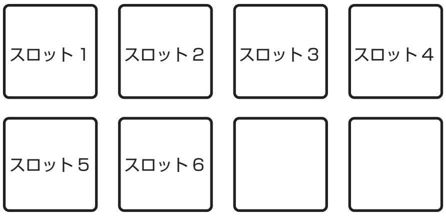
サンプラー (**SP-6**) のバンクを切り換えます。サンプラーは **A**、**B**、**C**、**D** の 4 つのバンクがあり、それぞれのバンクには 6 つのスロットがあります。

4 コンピューター画面のライブラリからトラックを選択して、[**SHIFT**] ボタンを押しながら、パフォーマンスパッドを押す

選択されたトラックがサンプラースロットにロードされます。
Serato DJ ソフトウェアは、トラックをサンプラースロットにロードすると、その設定を保持します。

5 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。



- [**SHIFT**] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、再生中のスロットの音声を停止します。

ホットループを使う

ループを保存したり、保存したループを呼び出します。

- 実際に保存するのは、ループインポイントのみです。1 曲につき、最大 8 個まで設定および保存できます。

1 [**SHIFT**] ボタンを押しながら、[**HOT CUE**] モードボタンを押す

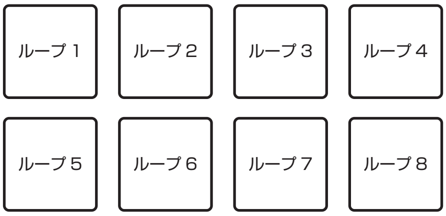
[**HOT CUE**] モードボタンが点滅し、HOT LOOP モードに切り換わります。

2 再生中にパフォーマンスパッドを押す

ループインポイントが、HOT CUE スロットへ設定されて、ループ再生が開始されます。

- このときループの長さは、オートループの拍数設定が適用されます。

ループインポイントは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



- HOT LOOP では、HOT CUE ポイントがループインポイントとして利用されます。
  すでに、HOT CUE ポイントが設定されているパフォーマンスパッドが押されると、その HOT CUE ポイントからループ再生が開始されます。

3 ループ再生中に [PARAM.1/PARAM.2◀] ボタンを押す
ループの長さが半分に縮小されます。
[**AUTO LOOP**] ツマミを反時計方向へ回しても、同じ効果が得られます。

4 ループ再生中に [PARAM.1/PARAM.2▶] ボタンを押す
ループの長さが 2 倍に延長されます。
[**AUTO LOOP**] ツマミを時計方向へ回しても、同じ効果が得られます。

5 ループ再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら、[PARAM.1/PARAM.2◀] ボタンまたは [PARAM.1/PARAM.2▶] ボタンを押す
ループの長さはそのままで、ループが移動します (ループシフト)。

6 [SHIFT] ボタンを押しながら、同じパフォーマンスパッドを押す
設定されているループインポイントに戻り、ループ再生を続けます。

7 同じパフォーマンスパッドをもう一度押す
ループ再生が解除されます。

オートループを使う

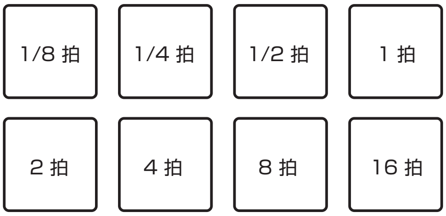
パフォーマンスパッドを押すとパッドに割り当てられた拍数のループが設定され、パッドから指を放してもループ再生を継続します。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[ROLL] モードボタンを押す
[**ROLL**] モードボタンが点滅し、AUTO LOOP モードに切り換わります。

2 [PARAM.1/PARAM.2◀] ボタンまたは [PARAM.1/PARAM.2▶] ボタンを押す
ボタンを押すたびに、パフォーマンスパッドに割り当てられるオートループの拍が切り換わります。
以下の 4 通りの設定ができます。

① 1/32 から 4 拍
② 1/16 から 8 拍
③ 1/8 から 16 拍
④ 1/4 から 32 拍

たとえば、「1/8 から 16 拍」の設定では、パッドの設定値は以下のようになります。



コンピューター画面にはオートループの設定されている拍の範囲が表示されます。

3 パフォーマンスパッドを押す
押されたパッドに割り当てられた拍数で、ループ再生します。

4 [SHIFT] ボタンを押しながら、[PARAM.1/PARAM.2◀] ボタンまたは [PARAM.1/PARAM.2▶] ボタンを押す
ループの長さはそのままで、ループが移動します (ループシフト)。

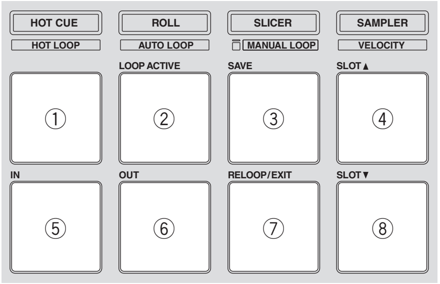
5 同じパフォーマンスパッドをもう一度押す
ループ再生が解除されます。

マニュアルループを使う

トラックの任意の区間でループ再生できます。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[SLICER] モードボタンを押す
[**SLICER**] モードボタンが点滅して、MANUAL LOOP モードに切り換わります。
MANUAL LOOP モードでは、パフォーマンスパッドの各パッドは以下のように機能します。

パッド 1	使用しません
パッド 2	ループアクティブ (ループインポイントへは移動しません)
パッド 3	ループを空いているループスロットへ保存する (オートループの場合のみ)
パッド 4	ループスロット内のカーソルの移動 (上方向)
パッド 5	ループインポイントの設定
パッド 6	ループアウトポイントの設定
パッド 7	ループ再生を再開する / ループ再生を解除する
パッド 8	ループスロット内のカーソルの移動 (下方向)



2 パッド 4 またはパッド 8 を押して、ループを保存したいループスロットを選択する
ループを設定すると、ループはここで選択したループスロットに自動的に保存されます。
ループが保存されたループスロットを選択しているときに新たにループを設定すると、保存されているループは新しいループで上書きされます。

3 再生または一時停止中に、パッド 5 を押す
ループインポイントが設定されます。

4 パッド 6 を押す
ループアウトポイントが設定され、ループ再生を始めます。
ループ再生を解除するには、パッド 2 またはパッド 7 を押します。

5 ループ再生中に [PARAM.1/PARAM.2◀] ボタンを押す
ループの長さが半分に縮小されます。

6 ループ再生中に [PARAM.1/PARAM.2▶] ボタンを押す
ループの長さが 2 倍に延長されます。

7 [SHIFT] ボタンを押しながら、[PARAM.1/PARAM.2◀] ボタンまたは [PARAM.1/PARAM.2▶] ボタンを押す
ループの長さはそのままで、ループが移動します (ループシフト)。

❖ 記憶してあるループを呼び出す

1 パッド 4 またはパッド 8 を押して、ループスロットを選択する

2 パッド 7 を押す
選択されているループスロットからループが呼び出されて、ループ再生が再開されます。
ループインポイントへ移動せずにループ機能をオンにするには、パッド 2 を押します。

❖ ループインポイントを微調整する（ループインアジャスト）

1 ループ再生中に、パッド 5 を押す
パッド 5 が点滅し、ループインポイント調整モードへ切り換わります。

2 [AUTO LOOP] ツマミを回す
ループインポイントを微調整します。

3 もう一度パッド 5 を押す
ループインポイント調整モードが解除されて、通常のループ再生へ戻ります。

❖ ループアウトポイントを微調整する（ループアウトアジャスト）

1 ループ再生中に、パッド 6 を押す
パッド 6 が点滅し、ループアウトポイント調整モードへ切り換わります。

2 [AUTO LOOP] ツマミを回す
ループアウトポイントを微調整します。

3 もう一度パッド 6 を押す
ループアウトポイント調整モードが解除されて、通常のループ再生へ戻ります。

サンプラーベロシティを使う

サンプラーベロシティモードがオンのとき、パフォーマンスパッドをたたく強さに応じて、サンプル音量のレベルが変化します。パフォーマンスパッドを強くたたくと音量レベルが大きくなり、パフォーマンスパッドを弱くたたくと音量レベルが小さくなります。
サンプラーベロシティモードがオフのときは、パフォーマンスパッドをたたく強さに関係なく、Serato DJ ソフトウェアで設定した音量レベルでトリガーされます。

サンプラーベロシティモードをオンにする

[**SHIFT**] ボタンを押しながら、[**SAMPLER**] モードボタンを押すと、[**SAMPLER**] モードボタンが点滅して、サンプラーベロシティモードがオンになります。

サンプラーベロシティモードをオフにする

[**SAMPLER**] モードボタンを押すと [**SAMPLER**] モードボタンが点灯して、通常のサンプラーモード (サンプラーベロシティモードはオフ) になります。

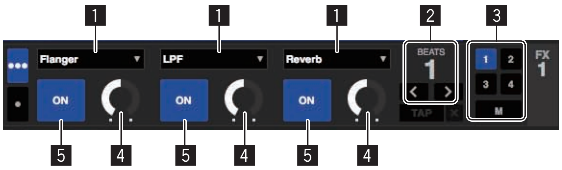
- ユーティリティーモードでは、ベロシティカーブとアフタータッチの設定をすることができます。
  アフタータッチが有効のとき、パフォーマンスパッドを押し続けている間の押す強さに応じて、サンプルの音量レベルが変化します。
  またユーティリティーモードでは、サンプラーベロシティモードへの入り方を変更することができます。
  詳しくは、20 ページの「本機の設定を変更する」をご覧ください。

エフェクトを使う

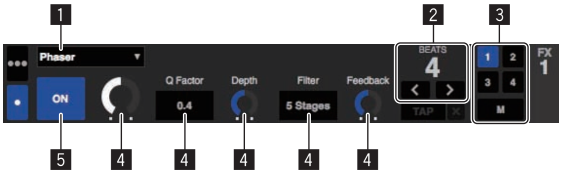
Serato DJ には FX1 と FX2 の 2 つのエフェクトユニットがあります。これらのエフェクトは音声全体に適用したり、選んだデッキに適用することができます。ここでは、本機を操作してエフェクトユニット 1 (FX1) を割り当てる方法の説明をします。

Serato DJ のエフェクトユニットの画面表示

マルチ FX モード：エフェクトユニットあたり、最大で 3 つのエフェクトが選択可能で、各エフェクトにはひとつの調整可能なパラメーターがあります。



シングル FX モード：エフェクトユニットあたり、ひとつのエフェクトが選択可能で、調整可能な複数のパラメーターがあります。

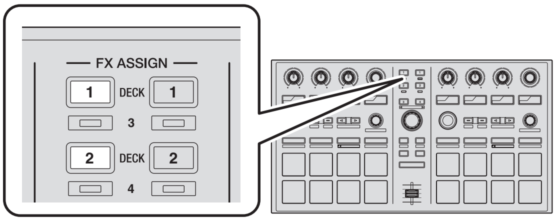


1 現在選ばれているエフェクトの種類が表示されます。
2 エフェクト時間が表示されます。
3 そのエフェクトユニットが割り当てられているデッキ番号がハイライトで表示されます。
4 選ばれているエフェクトパラメーターの状態が表示されます。
5 エフェクトのオン / オフが表示されます。

マルチ FX モードで操作する

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[TAP] ボタンを押して Serato DJ の DJ-FX モードをマルチ FX モードにする
ボタンを操作するたびに、マルチ FX モードとシングル FX モードが交互に切り換わります。

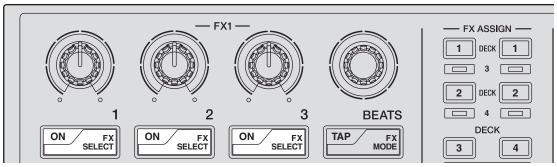
2 左側の [FX ASSIGN] ボタンを押して、エフェクトを割り当てるデッキを選ぶ



デッキ 1 にエフェクトを割り当てたいときは [**FX ASSIGN**]1 ボタン、デッキ 2 にエフェクトを割り当てたいときは [**FX ASSIGN**]2 ボタンを押します。

- デッキ 3 にエフェクトを割り当てたい場合は、[**SHIFT**] ボタンを押しながら [**FX ASSIGN**]1 ボタンを押し、デッキ 4 にエフェクトを割り当てたい場合は、[**SHIFT**] ボタンを押しながら [**FX ASSIGN**]2 ボタンを押します。
- 音声全体（マスター）にエフェクトをかける場合はコンピューター上で［**M**］をクリックします。

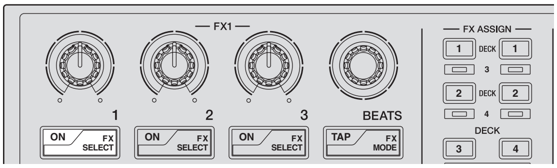
3 [SHIFT] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーター 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトの種類を選ぶ
2 番目のエフェクトの種類を選ぶには、[**SHIFT**] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーター 2 ボタンを押します。
3 番目のエフェクトの種類を選ぶには、[**SHIFT**] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーター 3 ボタンを押します。



現在選ばれているエフェクトの種類は、Serato DJ の画面上に表示されます。

4 エフェクトパラメーター 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトをオンにする

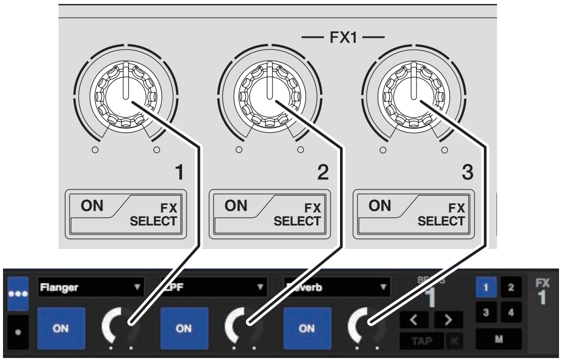
エフェクトパラメーター 2 ボタンを押すと、2 番目のエフェクトがオンになります。
エフェクトパラメーター 3 ボタンを押すと、3 番目のエフェクトがオンになります。



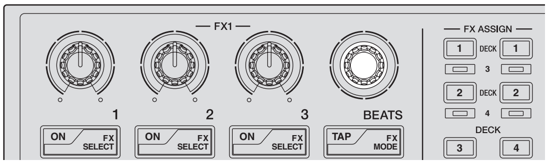
Serato DJ の画面上で、対応するエフェクトの [**ON**] ボタンがハイライトで表示されます。

5 エフェクトパラメーター 1 ツマミを操作して、1 番目のエフェクトのパラメーターを調整する

2 番目のエフェクトのパラメーターを調整するには、エフェクトパラメーター 2 ツマミを操作します。
3 番目のエフェクトのパラメーターを調整するには、エフェクトパラメーター 3 ツマミを操作します。



6 [FX BEATS] ツマミを回して、エフェクト時間を調整する



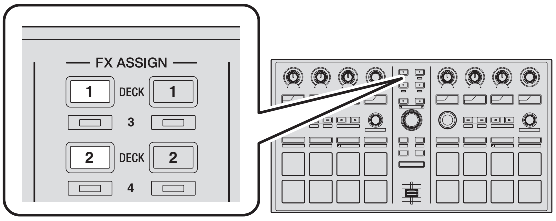
- エフェクト時間の基準となる BPM 値を、[**TAP**] ボタンをたたく間隔から設定することもできます。
  詳しくは、9 ページの「エフェクトのテンポモードを切り換える」をご覧ください。

シングル FX モードで操作する

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[TAP] ボタンを押して Serato DJ の DJ-FX モードをシングル FX モードにする

ボタンを操作するたびに、マルチ FX モードとシングル FX モードが交互に切り換わります。

2 左側の [FX ASSIGN] ボタンを押して、エフェクトを割り当てるデッキを選ぶ



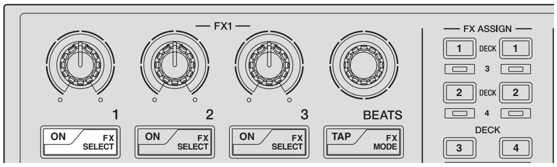
デッキ 1 にエフェクトを割り当てたいときは [**FX ASSIGN**]1 ボタン、デッキ 2 にエフェクトを割り当てたいときは [**FX ASSIGN**]2 ボタンを押します。

- デッキ 3 にエフェクトを割り当てたい場合は、[**SHIFT**] ボタンを押しながら [**FX ASSIGN**]1 ボタンを押し、デッキ 4 にエフェクトを割り当てたい場合は、[**SHIFT**] ボタンを押しながら [**FX ASSIGN**]2 ボタンを押します。

3 [SHIFT] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーターボタンのいずれかを押してエフェクトの種類を選ぶ

選ばれたエフェクトは、Serato DJ の画面上に表示されます。

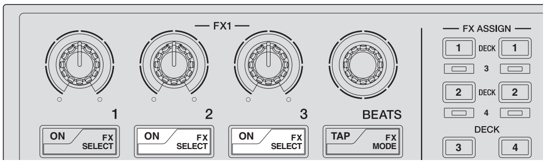
4 エフェクトパラメーター 1 ボタンを押して、エフェクトをオンにする



ボタンを押すたびに、エフェクトのオン / オフが切り換わります。

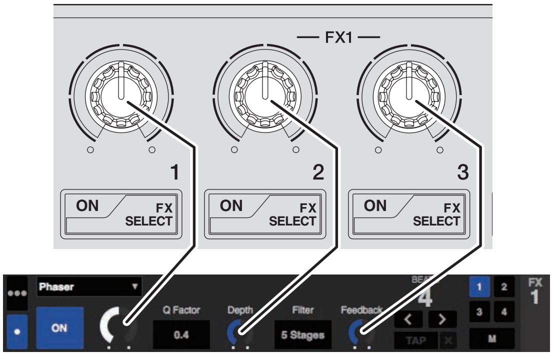
- Serato DJ の画面上で、エフェクトの [**ON**] ボタンがハイライト表示されます。

5 エフェクトパラメーター2ボタンまたはエフェクトパラメーター 3 ボタンを操作して、エフェクトのパラメーターを切り換える

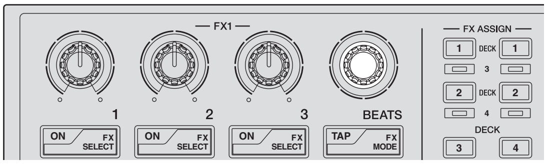


- エフェクトの種類によって、パラメーターがオン / オフだけの場合もあります。
- 選択したエフェクトによっては、ボタンを操作しても点灯しないことがあります。

6 エフェクトパラメーターツマミを操作して、エフェクトのパラメーターを調整する



7 [FX BEATS] ツマミを回して、エフェクト時間を調整する



- エフェクト時間の基準となる BPM 値を、[**TAP**] ボタンをたたく間隔から設定することもできます。
  詳しくは、9 ページの「エフェクトのテンポモードを切り換える」をご覧ください。

Serato Video を使う

Serato Video の詳細な操作方法、機能説明、および使用可能なコーデックに関する情報は、Serato Video の取扱説明書をご覧ください。

Serato Video を入手する

下記の Pioneer DJ サポートサイトへアクセスしてください。
http://pioneerdj.com/support/
本機のサポートページに Serato Video を入手するための説明があります。

1 Pioneer DJ サポートサイトへアクセスし、[DDJ-SP1] の [ソフトウェア対応情報] をクリックする

2 Serato Video のダウンロードページへのリンクをクリックする

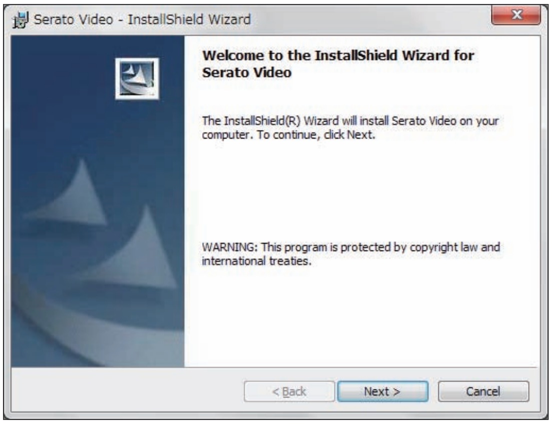
画面の指示に従って、E-mail アドレス、パスワード、本機付属の Serato Video 用クーポン券に記載されているバウチャーコードを入力します。

Serato Video をインストールする

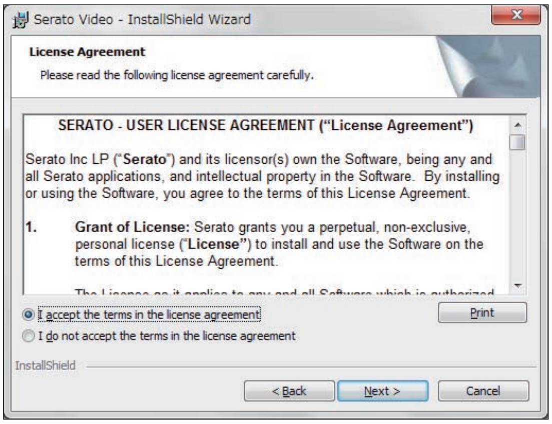
- Serato Video をコンピューターにインストールするには、Serato DJ があらかじめインストールされている必要があります。

❖ インストール手順 (Windows)

1 ダウンロードしたファイルを解凍し、解凍したファイルをダブルクリックしてインストーラーを起動させる

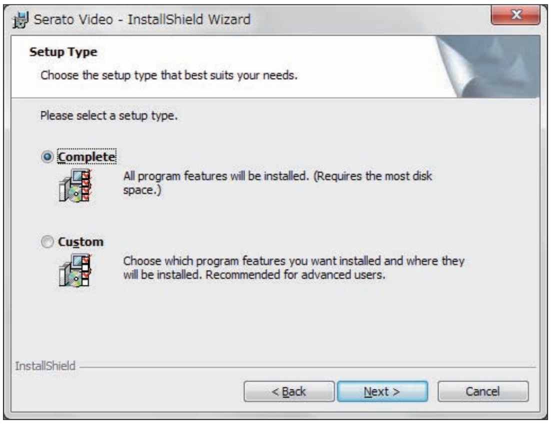


2 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は [I accept the terms in the license agreement] を選択し、[Next] をクリックする

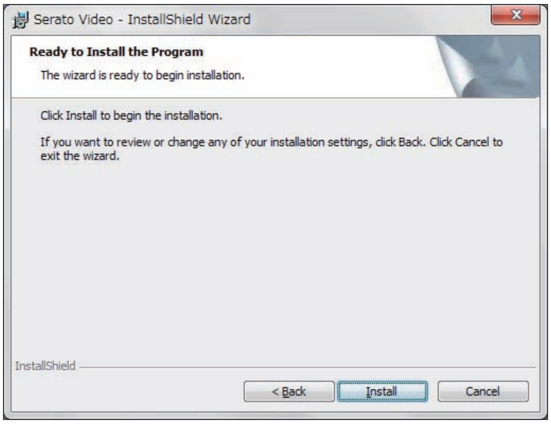


- 使用許諾契約の内容に同意しないときは [Cancel] をクリックしてインストールを中止してください。

3 Serato Video のインストールの種類を選んで [Next] をクリックする

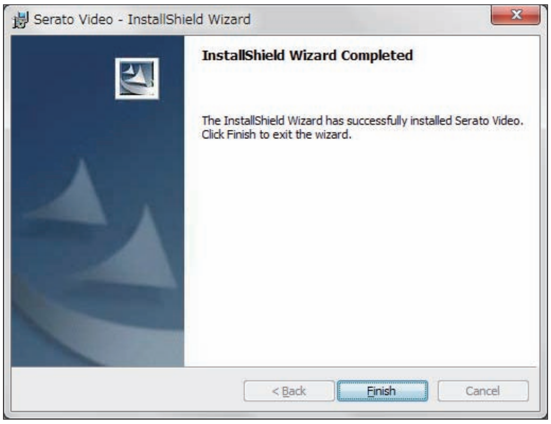


4 [Install] をクリックして、Serato Video のインストールを開始する



インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

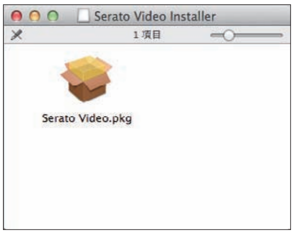
5 [Finish] をクリックして Serato Video インストーラーを終了させる



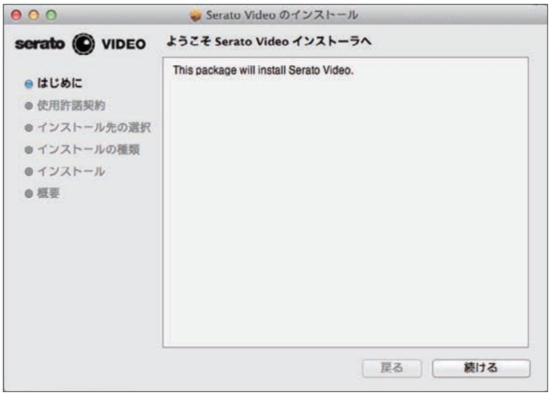
❖ インストール手順 (Mac OS X)

1 ダウンロードしたファイルをダブルクリックする

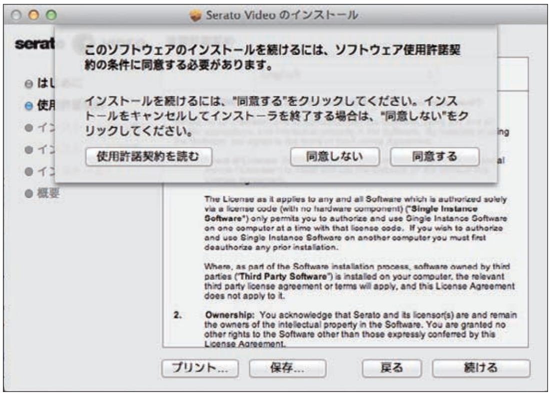
Serato Video.pkg アイコンが現れるので、それをダブルクリックすると、Serato Video のインストーラーが起動します。



2 [続ける] をクリックする



3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は [同意する] をクリックする

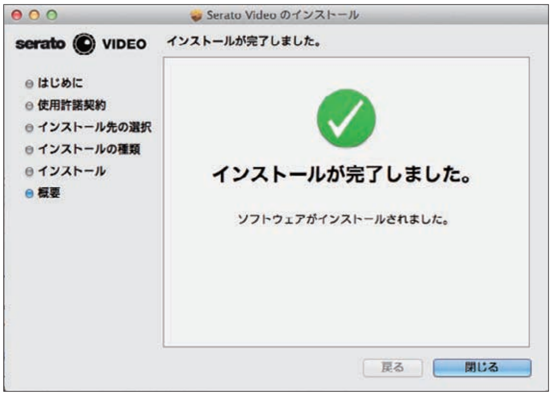


- 使用許諾契約の内容に同意しないときは [**同意しない**] をクリックしてインストールを中止してください。

4 [インストール] をクリックして、Serato Video のインストールを開始する

インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

5 [閉じる] をクリックして Serato Video インストーラーを終了させる



Serato DJでSerato Videoを使えるようにする

❖ Serato Video をオーサライズする

Serato DJでSerato Videoを使えるようにするには、Serato Videoをオーサライズする必要があります。

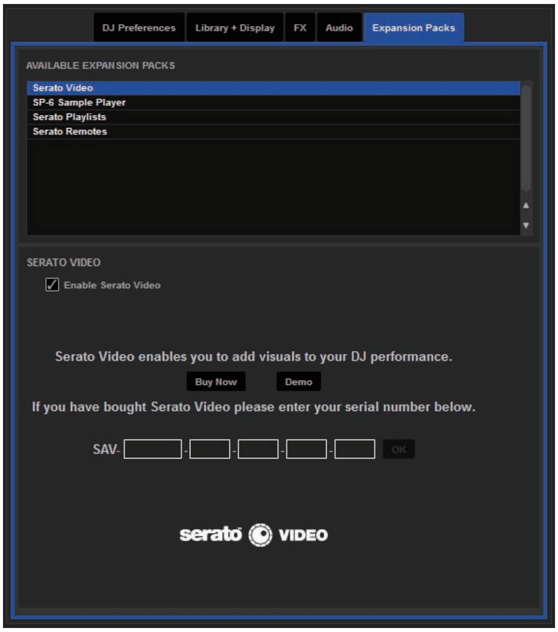
1 Serato DJ を起動し、Serato Video の設定をする

Serato Video をインストール後、Serato DJ を起動し、[**SETUP**] > [**Expansion Packs**] の画面を表示させます。

2 Serato Video のシリアルナンバーを入力する

[**Expansion Packs**] の画面から、[**AVAILABLE EXPANSION PACKS**] の中の [**Serato Video**] を選択します。
そのあと [**Enable Serato Video**] にチェックを入れてから、入手したシリアルナンバーを入力して、[**OK**] をクリックします。

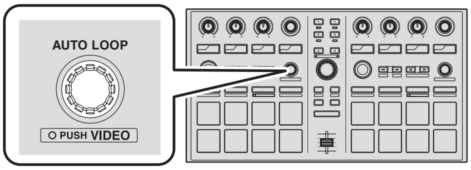
- シリアルナンバーを入手するには、Pioneer DJ サポートサイトの本機のサポートページにあるリンク先から、本機付属の Serato Video クーポン券に記載してある、バウチャーコードを入力する必要があります。



❖ Serato Video コントロールモードに切り換える

1 [LOAD] ボタンを使って、ビデオファイルをデッキへロードする

2 [SHIFT] ボタンを押しながら、左または右の [AUTO LOOP] ツマミを押して、モードを切り換える



本機が Serato Video コントロールモードに切り換わります。
もう一度、[**SHIFT**] ボタンを押しながら、左または右の [**AUTO LOOP**] ツマミを押すと、Serato Video をコントロールするモードが解除されます。

- このモードでは、本機から DJ-FX をコントロールすることはできません。
- Serato Video をコントロールするには、ユーティリティーモードでアドバンスド MIDI を無効にしておく必要があります。
  詳しくは、20 ページの「本機の設定を変更する」をご覧ください。

ビデオエフェクトを使う

ビデオエフェクトは、左右のチャンネルごとに、それぞれ 2 つまで設定することができます。
ここでは、左チャンネルのビデオエフェクトを操作する手順を説明します。

❖ エフェクトスロット 1 のビデオエフェクトを操作する

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーター 1 ボタンを押して、エフェクトスロット 1 のビデオエフェクトを選ぶ

2 エフェクトパラメーター 1 ボタンを押して、選択したビデオエフェクトをオンする

3 エフェクトパラメーター 1 ツマミを回して、選択したビデオエフェクトのパラメーターを調整する

❖ エフェクトスロット 2 のビデオエフェクトを操作する

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーター 2 ボタンを押して、エフェクトスロット 2 のビデオエフェクトを選ぶ

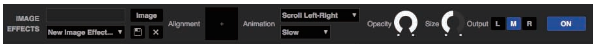
2 エフェクトパラメーター 2 ボタンを押して、選択したビデオエフェクトをオンする

3 エフェクトパラメーター 2 ツマミを回して、選択したビデオエフェクトのパラメーターを調整する

イメージエフェクトを使う

❖ イメージエフェクトを使うための準備をする

主な操作はコンピューター画面上の [**IMAGE EFFECTS**] パネルでします。



1 コンピューター画面上でビデオパネルの中の をクリックして、[IMAGE EFFECTS] パネルを開く

2 [Image] をクリックして、画像ファイルを選ぶ
使用できる画像ファイルの形式については、Serato Video の説明書をご覧ください。

3 本機の [SHIFT] ボタンを押しながら、左側のエフェクトパラメーター 3 ボタンを押して、イメージエフェクト用のアニメーションを選ぶ

4 [Alignment] の右側に表示されているパッドを操作して、イメージエフェクトの表示位置を調整する

5 [Animation] の右側のプルダウンメニューから、アニメーションのオプションを選ぶ
アニメーションのスクロール方法や速度などを選択します。

6 [Size] ツマミを操作して、イメージエフェクトの大きさを調整する

7 [Output] の右側にある [L]/[M]/[R] のいずれかをクリックして、イメージエフェクトの出力先を選択する
[**L**]：左チャンネル
[**M**]：ミックス出力
[**R**]：右チャンネル

8 をクリックする
調整した内容が保存されます。

❖ イメージエフェクトを操作する

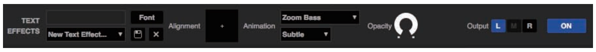
1 本機の左側のエフェクトパラメーター 3 ボタンを押して、イメージエフェクトをオンする

2 本機の左側のエフェクトパラメーター 3 ツマミを回して、イメージエフェクトの透明度を調整する

テキストエフェクトを使う

❖ テキストエフェクトを使うための準備をする

主な操作はコンピューター画面上の [**TEXT EFFECTS**] パネルでします。



1 コンピューター画面上でビデオパネルの中の をクリックして、[TEXT EFFECTS] パネルを開く

2 コンピューターのキーボードを使って、テキスト入力フィールドに、表示したいテキストを入力する

3 [Font] をクリックして、フォントを設定する
フォントのスタイル・色・大きさを設定することができます。

4 本機の [SHIFT] ボタンを押しながら、右側のエフェクトパラメーター 3 ボタンを押して、テキストエフェクト用のアニメーションを選ぶ

5 [Alignment] の右側に表示されているパッドを操作して、テキストエフェクトの表示位置を調整する

6 [Animation] の右側のプルダウンメニューから、アニメーションのオプションを選ぶ
アニメーションのスクロール方法や速度などを選択します。

7 [Output] の右側にある [L]/[M]/[R] のいずれかをクリックして、テキストエフェクトの出力先を選択する
[**L**]：左チャンネル
[**M**]：ミックス出力
[**R**]：右チャンネル

8 をクリックする
調整した内容が保存されます。

❖ テキストエフェクトを操作する

1 本機の右側のエフェクトパラメーター 3 ボタンを押して、テキストエフェクトをオンする

2 本機の右側のエフェクトパラメーター 3 ツマミを回して、テキストエフェクトの透明度を調整する

フェーダートランジションを使う

ここでは、本機に組み合わせる DJ ミキサーまたは DJ コントローラーのクロスフェーダーを使って、左チャンネルのビデオから右チャンネルのビデオへ切り換える操作を説明します。

1 左または右の [FX BEATS] ツマミを回して、トランジションエフェクトの種類を選ぶ
左または右の [**TAP**] ボタンを押すと、トランジションエフェクトの種類が順番に切り換わっていきます。

2 [SHIFT] ボタンを押しながら、左または右の [TAP] ボタンを押して、クロスフェーダーリンクをオンにする
クロスフェーダーリンクがオンのとき、コンピューターに接続されている DJ ミキサーまたはコントローラーのクロスフェーダーによって、左のチャンネルのビデオから右のチャンネルのビデオへ切り換えることができます。

3 コンピューターに接続されている DJ ミキサーまたはコントローラーのクロスフェーダーを左から右へスライドさせる
左のチャンネルのビデオから、右のチャンネルのビデオへ切り換わります。

スリップを使う

スリップをオンに設定すると、ループの再生中またはホットキューの再生中に、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。ループの再生またはホットキューの再生を解除すると解除するまでに経過した位置から通常の再生を再開します。スリップを使うことで、リズムを崩すことなくさまざまなパフォーマンスができます。
パッドモードが HOT CUE モード、HOT LOOP モード、AUTO LOOP モード、または MANUAL LOOP モードのときにスリップを使うことができます。

- [**SLIP**] ボタンは、スリップモードにしたときに点灯し、バックグラウンドで再生を続けている間は点滅します。

スリップホットキュー

1 [HOT CUE] モードボタンを押す
パッドモードを HOT CUE モードにします。

2 ホットキューを設定する
パフォーマンスパッドを押してホットキューを設定します。

3 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。
スリップモードを解除するときは、もう一度 [**SLIP**] ボタンを押します。

4 再生中にパフォーマンスパッドを押し続ける
ホットキューを設定した位置から再生が始まります。パフォーマンスパッドを押し続けている間、再生を続けます。
ホットキューの再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

5 パフォーマンスパッドから指を放す
バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

スリップホットループ

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[HOT CUE] モードボタンを押す
パッドモードを HOT LOOP モードにします。

2 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。
スリップモードを解除するときは、もう一度 [**SLIP**] ボタンを押します。

3 パフォーマンスパッドを押す
押されたパッドに割り当てられたループインポイントからループ再生を始めます。
- ループの長さは、オートループで設定された拍数が適用されます。

ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 同じパフォーマンスパッドをもう一度押す
ループが解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

スリップオートループ

オートループの操作は、パフォーマンスパッドを使う方法と [**AUTO LOOP**] ツマミを使う方法の 2 通りがあります。どちらの場合でも、スリップオートループを使うことができます。

❖ パフォーマンスパッドを使ってスリップオートループさせる

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[ROLL] モードボタンを押す
パッドモードを AUTO LOOP モードにします。

2 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。
スリップモードを解除するときは、もう一度 [**SLIP**] ボタンを押します。

3 パフォーマンスパッドを押す
押されたパッドに割り当てられた拍数で、ループ再生します。
ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 同じパフォーマンスパッドをもう一度押す
ループが解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

❖ [AUTO LOOP] ツマミを使ってスリップオートループさせる

1 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。
スリップモードを解除するときは、もう一度 [**SLIP**] ボタンを押します。

2 [AUTO LOOP] ツマミを回す
オートループの拍数を選びます。

3 [AUTO LOOP] ツマミを押す
指定した拍数でループが設定されて、ループ再生が始まります。
ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 もう一度、[AUTO LOOP] ツマミを押す
ループが解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

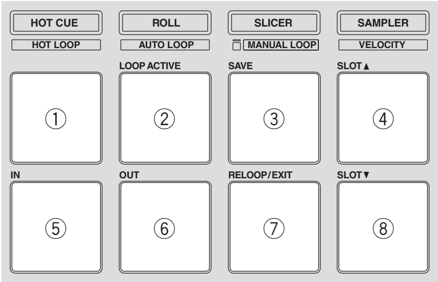
スリップマニュアルループ

❖ ループを作ってスリップさせる

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[SLICER] モードボタンを押す
パッドモードを MANUAL LOOP モードにします。

2 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。
スリップモードを解除するときは、もう一度 [**SLIP**] ボタンを押します。

3 パッド 5 を押してループインポイントを設定してから、パッド 6 を押す
ループアウトポイントが設定されて、ループ再生を始めます。
ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。



4 パッド 2 またはパッド 7 を押す
ループが解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

❖ ループスロットのループを使ってスリップさせる

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[SLICER] モードボタンを押す
パッドモードを MANUAL LOOP モードにします。

2 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。
スリップモードを解除するときは、もう一度 [**SLIP**] ボタンを押します。

3 パッド 4 またはパッド 8 を押して、再生したいループを選ぶ

4 パッド 7 を押す
選んだループが呼び出されて、ループ再生が始まります。
ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

5 もう一度パッド 7 を押す、またはパッド 2 を押す
ループが解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

本機の設定を変更する

以下の設定を変更することができます。

設定項目一覧

選択されている項目名	初期設定
サンプラーベロシティモードのベロシティカーブの選択	カーブ 1
サンプラーベロシティモードのアフタータッチ設定	アフタータッチは無効
サンプラーベロシティモードの入り方設定	[**SHIFT**] ボタンを押しながら、[**SAMPLER**] ボタンを押すとき、サンプラーベロシティモードに入る
使用する DJ ソフトウェアの設定	Serato DJ を使用
デモモードの設定	デモモードをオンにする
スリップモードフラッシングの設定	スリップモードフラッシングは有効
トラックロード時のイルミネーションの設定	イルミネーションタイプ 1
アドバンスド MIDI の設定	アドバンスド MIDI は無効

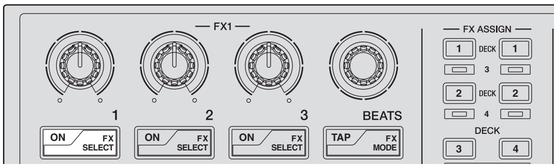
サンプラーベロシティモードのベロシティカーブ設定を変更する

サンプラーベロシティモードのベロシティカーブを設定します。ベロシティカーブは 4 種類のうちから選択できます。

- 初期設定はカーブ 1 です。

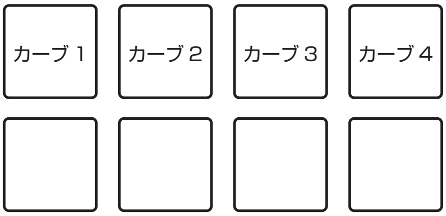
1 [BACK] ボタンを 1 秒以上押して、ユーティリティーモードに切り換える

2 ロータリーセレクターを回して、FX1 エフェクトパラメーター 1 ボタンを点滅させる

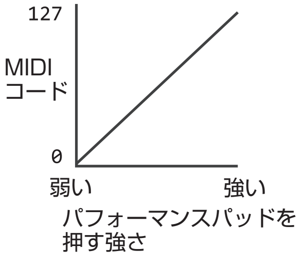


3 左側のパフォーマンスパッドを押して、ベロシティカーブを選ぶ

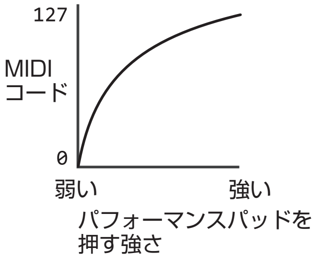
どのパッドが点滅しているかにより、現在の選ばれているベロシティカーブがわかります。



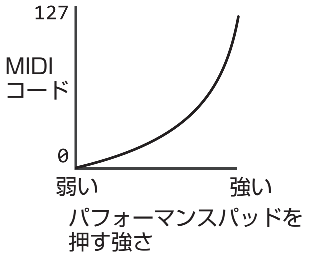
カーブ 1



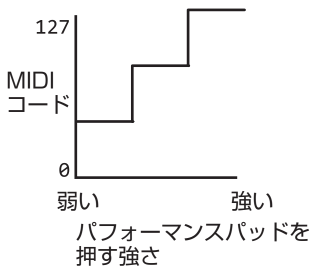
カーブ 2



カーブ 3



カーブ 4



4 ロータリーセレクターを押す

設定したパラメーターを本機に記憶させます。
記憶中はエフェクト部の 8 個のボタンが点滅します。この間は本機から USB ケーブルを外さないでください。

5 [BACK] ボタンを押す

ユーティリティーモードから通常の動作へ戻ります。

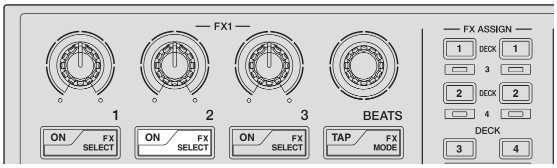
サンプラーベロシティモードのアフタータッチ設定を有効にする

本機のパフォーマンスパッドのサンプラーベロシティモードがオンのとき、アフタータッチ設定のオン / オフができます。
アフタータッチ設定 無効：パフォーマンスパッドを押した瞬間の押した強さに応じて、サンプラーの音量が変化し、パッドを押し続けている間の音量は変化しません。
アフタータッチ設定 有効：パフォーマンスパッドを押した瞬間の押した強さ、およびパッドを押し続けているあいだの押す強さに応じて、サンプラーの音量が変化します。

- 初期設定ではアフタータッチ設定は無効です。

1 [BACK] ボタンを 1 秒以上押して、ユーティリティーモードに切り換える

2 ロータリーセレクターを回して、FX1 エフェクトパラメーター 2 ボタンを点滅させる



3 左側のパフォーマンスパッドのパッド 1 またはパッド 2 を押す

- パッド 1 が点滅：アフタータッチは無効
- パッド 2 が点滅：アフタータッチは有効

4 ロータリーセレクターを押す

設定したパラメーターを本機に記憶させます。
記憶中はエフェクト部の 8 個のボタンが点滅します。この間は本機から USB ケーブルを外さないでください。

5 [**BACK**] ボタンを押す

ユーティリティーモードから通常の動作へ戻ります。

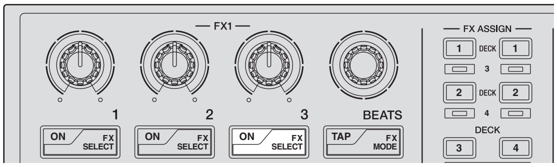
サンプラーベロシティモードの入り方を変更する

サンプラーベロシティモードの入り方を変更できます。

- 初期設定では、[**SHIFT**] ボタンを押しながら、[**SAMPLER**] ボタンを押して、サンプラーベロシティモードに入る設定です。

1 [**BACK**] ボタンを 1 秒以上押して、ユーティリティーモードに切り換える

2 ロータリーセレクターを回して、FX1 エフェクトパラメーター 3 ボタンを点滅させる



3 左側のパフォーマンスパッドのパッド 1 またはパッド 2 を押す

- パッド 1 が点滅：[**SHIFT**] ボタンを押しながら、[**SAMPLER**] ボタンを押すとき、サンプラーベロシティモードに入る
- パッド 2 が点滅：[**SAMPLER**] ボタンを 1 秒以上押すとき、サンプラーベロシティモードに入る

4 ロータリーセレクターを押す

設定したパラメーターを本機に記憶させます。
記憶中はエフェクト部の 8 個のボタンが点滅します。この間は本機から USB ケーブルを外さないでください。

5 [**BACK**] ボタンを押す

ユーティリティーモードから通常の動作へ戻ります。

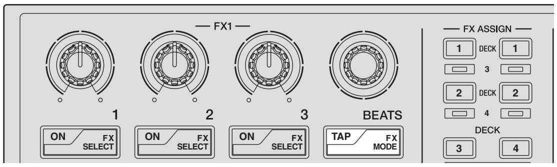
Serato DJ 以外の DJ ソフトウェアを使う

Serato DJ 以外の DJ ソフトウェアを操作するコントローラーとして使用するときに、この設定を変更します。

- 初期設定は Serato DJ を使う設定です。

1 [**BACK**] ボタンを 1 秒以上押して、ユーティリティーモードに切り換える

2 ロータリーセレクターを回して、FX1 [**TAP**] ボタンを点滅させる



3 左側のパフォーマンスパッドのパッド 1 を押す

- パッド 1 が点灯：Serato DJ 以外のソフトウェアを使用
- パッド 1 が消灯：Serato DJ を使用

4 ロータリーセレクターを押す

設定したパラメーターを本機に記憶させます。
記憶中はエフェクト部の 8 個のボタンが点滅します。この間は本機から USB ケーブルを外さないでください。

5 [**BACK**] ボタンを押す

ユーティリティーモードから通常の動作へ戻ります。

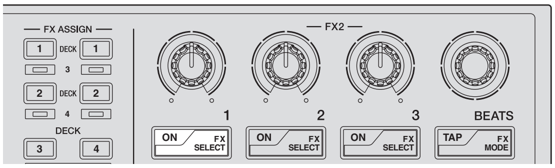
デモモードを無効にする

本機は通常の使用状態で 10 分間何の操作もないとき、デモモードを実行しますが、このデモモードはオフにすることができます。

- 初期設定ではデモモードはオンです。
- デモモード中は本機のいずれかのツマミやボタンを操作すると、デモモードを解除できます。

1 [**BACK**] ボタンを 1 秒以上押して、ユーティリティーモードに切り換える

2 ロータリーセレクターを回して、FX2 エフェクトパラメーター 1 ボタンを点滅させる



3 左側のパフォーマンスパッドのパッド 1 を押す

- パッド 1 が点灯：デモモードをオンにする
- パッド 1 が消灯：デモモードをオフにする

4 ロータリーセレクターを押す

設定したパラメーターを本機に記憶させます。
記憶中はエフェクト部の 8 個のボタンが点滅します。この間は本機から USB ケーブルを外さないでください。

5 [**BACK**] ボタンを押す

ユーティリティーモードから通常の動作へ戻ります。

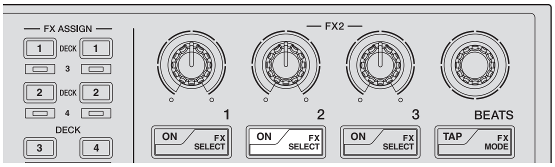
スリップモードフラッシングの設定

スリップモードフラッシングが有効のとき、[**SLIP**] ボタンが押されると、[**AUTO LOOP**] ツマミ、[**HOT CUE**] モードボタンなど、スリップモードに関連するボタンが点滅します。この設定はボタンの点滅を無効にすることができます。

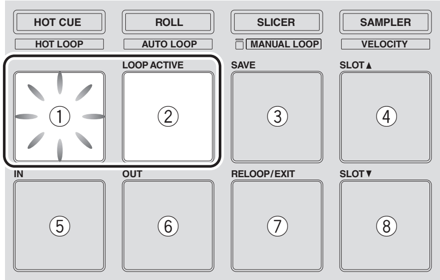
- 初期設定ではスリップモードフラッシングは有効です。

1 [**BACK**] ボタンを 1 秒以上押して、ユーティリティーモードに切り換える

2 ロータリーセレクターを回して、FX2 エフェクトパラメーター 2 ボタンを点滅させる



3 左側のパフォーマンスパッドのパッド 1 またはパッド 2 を押す



- パッド 1 が点滅：スリップモードフラッシングは有効
- パッド 2 が点滅：スリップモードフラッシングは無効

4 ロータリーセレクターを押す

設定したパラメーターを本機に記憶させます。
記憶中はエフェクト部の 8 個のボタンが点滅します。この間は本機から USB ケーブルを外さないでください。

5 [BACK] ボタンを押す

ユーティリティーモードから通常の動作へ戻ります。

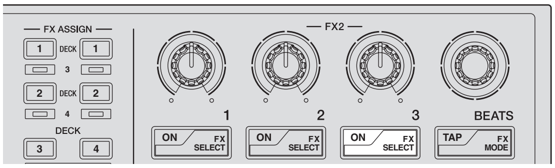
トラックロード時のイルミネーションの設定を変更する

トラックロード時のイルミネーションの点灯パターンを切り換えることができます。

- 初期設定ではイルミネーションタイプ 1 です。

1 [BACK] ボタンを 1 秒以上押して、ユーティリティーモードに切り換える

2 ロータリーセレクターを回して、FX2 エフェクトパラメーター 3 ボタンを点滅させる



3 左側のパフォーマンスパッドのパッド 1 またはパッド 2 を押す

どのパッドが点滅しているかにより、現在の設定値がわかります。

- パッド 1 が点滅：イルミネーションタイプ 1 を選択
- パッド 2 が点滅：イルミネーションタイプ 2 を選択

4 ロータリーセレクターを押す

設定したパラメーターを本機に記憶させます。
記憶中はエフェクト部の 8 個のボタンが点滅します。この間は本機から USB ケーブルを外さないでください。

5 [BACK] ボタンを押す

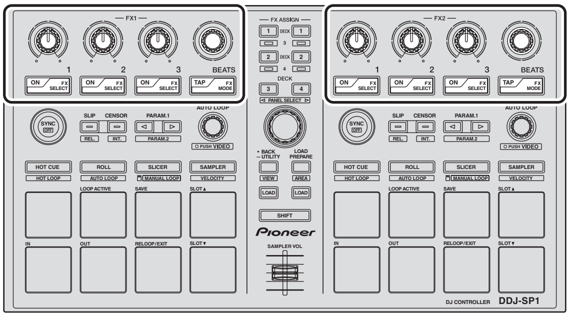
ユーティリティーモードから通常の動作へ戻ります。

アドバンスド MIDI の設定を有効にする

アドバンスド MIDI 機能は、将来的に Serato DJ ソフトウェアに機能拡張があった場合に使用します。アドバンスド MIDI 機能を有効にしたときは、本機の [**SHIFT**] ボタンを押しながら [**AUTO LOOP**] ツマミを押すと、エフェクトパラメーターツマミ、[**FX BEATS**] ツマミ、エフェクトパラメーターボタンおよび [**TAP**] ボタンが専用の MIDI コードに切り換わります。

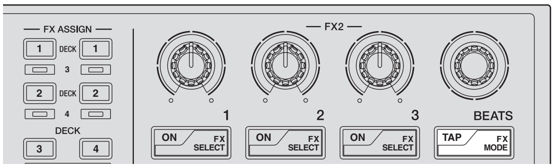
- 初期設定ではアドバンスド MIDI は無効です。
- 本機で Serato Video をコントロールする場合は、アドバンスド MIDI を無効に設定します。

アドバンスド MIDI が適用されるボタンおよびツマミ



1 [BACK] ボタンを 1 秒以上押して、ユーティリティーモードに切り換える

2 ロータリーセレクターを回して、FX2[TAP] ボタンを点滅させる



3 左側のパフォーマンスパッドのパッド 1 またはパッド 2 を押す

- パッド 1 が点滅：アドバンスド MIDI は無効
- パッド 2 が点滅：アドバンスド MIDI は有効

4 ロータリーセレクターを押す

設定したパラメーターを本機に記憶させます。
記憶中はエフェクト部の 8 個のボタンが点滅します。この間は本機から USB ケーブルを外さないでください。

5 [BACK] ボタンを押す

ユーティリティーモードから通常の動作へ戻ります。

その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目および Pioneer DJ サポートサイトへアクセスして、[**DDJ-SP1**] の [**よくある質問**] を確認してください。
http://pioneerdj.com/support/
また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、24 ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源をオフにしてから 1 分後に再度電源をオンにすることで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が入らない。	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。
	接続されているコンピューターの USB ポートからの給電が不足していませんか？	十分な給電ができる USB ポートに接続してください。
		DJ プレイに使用しない機器が別の USB ポートに接続されている場合は、それらも抜いて電力を確保してください。
		接続先のコンピューターをバッテリーで駆動させずに、AC 電源から電源供給を行ってみてください。
本機が認識されない。（パッドモードボタンが点灯しない）	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。
	USB ハブを使っていませんか？	USB ハブは使えません。コンピューターと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。
	Serato DJ 認証済みのコントローラー、オーディオインターフェース、ミキサーがコンピューターに接続されていますか？	Serato DJ 認証済み機器を USB ケーブルでコンピューターへ接続してください。
	Serato DJ ソフトウェアのバージョンは最新になっていますか？	最新のソフトウェアにアップデートしてください。
インジケーターが暗い。	[**DIMMER**] スイッチが [**ON**] の位置になっていませんか？	[**DIMMER**] スイッチを [**OFF**] の位置にしてください。 [**DIMMER**] スイッチを [**ON**] 状態から [**OFF**] にするには、一度本機に接続されている USB ケーブルを抜いてから行ってください。USB ケーブルが接続されている状態で [**OFF**] の位置にしても、インジケーターは明るくなりません。
パフォーマンスパッドを押し続けているときに、押す強さに応じてサンプラーの音量が変化しない。	アフタータッチが無効になっていませんか？	ユーティリティーモードでアフタータッチを有効にしてください。
ライブラリにトラックが表示されない。	音楽ファイルをインポートしていますか？	音楽ファイルをインポートしてください。 インポート方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
	トラックが入っていない crate または subcrate を選んでいませんか？	トラックが入っている crate または subcrate を選ぶか、crate または subcrate にトラックを追加してください。
Serato Video がコントロールできない。	Serato Video はインストールされていますか？	Pioneer DJ サポートサイト (http://pioneerdj.com/support/) へアクセスして、本機のサポートページから Serato Video を入手してインストールしてください。
DJ-FX（エフェクト）がコントロールできない。	[**AUTO LOOP**] ツマミの周りが光っていませんか？	Serato Video コントロールモードになっています。 [**SHIFT**] ボタンを押しながら、左側または右側の [**AUTO LOOP**] ツマミを押して、このモードを解除してください。
デッキ 3 またはデッキ 4 へトラックをロードすることができない。	[**DECK**] ボタンは点灯していますか？	[**DECK**] ボタンを押して、[**DECK**] ボタンが点灯してから、[**LOAD**] ボタンを押してください。

他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する

本機はボタンやツマミなどの操作情報を汎用のMIDI形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピューターと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。
Serato DJ ソフトウェア以外の DJ ソフトウェアを操作するコントローラーとして使用するときは、ユーティリティーモードで Serato DJ 以外のソフトウェアを使う設定に変更してください。また、DJ ソフトウェアの MIDI に関する設定を行ってください。
- 詳しくは、お使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

MIDI メッセージについて

本機の MIDI メッセージについては、「List of MIDI Messages」をご覧ください。
- 「List of MIDI Messages」は下記の URL より入手できます。
  http://pioneerdj.com/support/

保証とアフターサービス

本内容は日本国内モデルのみに適用されます。

修理に関するご質問、ご相談

「取扱説明書 (基礎編)」の巻末に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書 (取扱説明書 (基礎編) に記載)

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。
保証書に販売店名や購入日の記載がない場合は、本製品のご購入の際に受け取られた、購入日が明記されている購入証明書 (レシート、納品書、受注メールなど) が必要となります。保証書とともに大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 23 ページの「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず USB ケーブルを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DJ コントローラー
- 型番：DDJ-SP1
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。
K041_A2_Ja

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

商標および登録商標について

- Pioneer はパイオニア株式会社の登録商標です。
- Microsoft, Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OS、および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Intel および Intel Core は、米国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Serato DJ、Serato Video は、Serato 社の登録商標です。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での (収益の発生するような) 、実際の放送 (地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送) 、インターネットやイントラネット (企業内ネット) あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム (音楽の有料配信など) のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは http://www.mp3licensing.com をご参照ください。

著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

— 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
© 2013 パイオニア株式会社　禁無断転載
パイオニア株式会社
〒 212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉 1 番 1 号
<DRI1154-A>